

一日研の報告

- 1 期日 8月31日
- 2 場所 サンワーク総社
- 3 参加者 O,MU,CH,YO,AR,AK,KA,WA、HA
- 4 内容

O先生の話

- 「雀の子」映像 (KA)
- 「雀の子」模擬授業 (YO)
- 「雀の子」発問 (CH)

運営委員会

- 「本の読み方」読書会 (MU)
- 「一つの花」記録 (AK)
- 「春」記録 (HA)
- 「ぼくは川」解釈、プラン (AK)
- 「割合」プラン (WA)

「なぜ追求の授業をするのか」

Oさんからは根幹に関わる考え方を「分かりやすく」図に表しながら話して下さいました。「他者」との関わりを通して自分を見つめること。「どう生きるか」。1時間の話の中で考えさせられることが多々ありました。

KAさんの映像。「できてないな」と自分で分かっているながら映像を見せる。しかも目が肥えた人に。そこでヘソを出して見せた梶原さんは自分の中をまた一歩見つめたのだと思います。

YOさんの模擬授業から問題づくりについて学びました。今回は問題をどう対立にもっていくか、どの問題から解決するか、問題と問題の関係性、などリアルタイムで考えることができました。自分が思っていたプラン通りにはいきません。その時その時でどう展開していくか、解釈だけでなく、問題と問題をどう関係づけるか、どこまで問題を掘り下げるか、置いておくか、まだまだ奥が深いです。

3月から取り組んできた「雀の子」。CHさんが毎回のように出してくださるレポート。そこから積み上げることの大事さを感じます。ありがとうございます。

MUさんのレポートもありがとうございます。視点を設けて、実践と結びつけていつも考えること

ができます。

記録からは、追求場面に必要なことは先にやって（教えて）おいて、話し合いたいところに早く入ることを改めて学び直しました。何度も何度も同じことをしていて情けないですが、実践を出し続けないと気づけないことだとも思います。

AKさんの解釈力に感心します。一日研をはじめ、金曜の会や合同例会に学び、実践を積み重ねているからだと感じます。自分を見つめた回数かな。 文責 HA